

令和5年度広島県政世論調査の結果について

1 要旨・目的

今年度実施した県政世論調査の結果について報告する。

2 現状・背景

県政の主要課題等に対する県民の意識や要望等を把握し、今後の県政運営の基礎資料とすることを目的に3年に一度、県政世論調査を実施している。

ひろしまビジョンに掲げる主要施策等に関するもののほか、定点調査として「暮らし全般」や「今後の重点施策の要望」などについて県民の意識の経年変化を調査している。

3 概要

(1) 調査対象

県内在住の満18歳以上の県民2,000人（無作為抽出）

(2) 実施方法

郵送配付、郵送・インターネット回収

(3) 調査期間

令和5年8月31日～9月15日

(4) 回収数

1,162（回収率58.1%）

(5) 調査項目

9テーマ27問

(6) 調査結果

別紙のとおり

(7) 今後の対応

今回の調査結果をもとに、担当局において施策等の立案や実施に当たっての基礎資料として活用し、県行政に適切に反映させる。

4 その他

県ホームページで調査概要、結果を公表

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/19/1177398971210.html>

調査結果（主なものを抜粋）

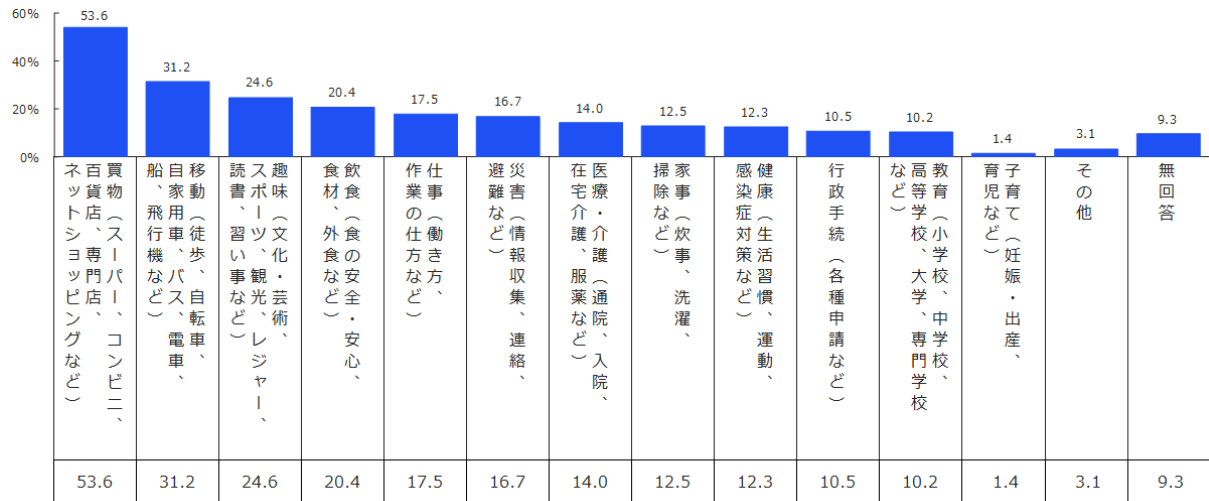
1 暮らし全般について									
[現在の暮らし向き]									
○ 「十分満足している」、「一応満足している」を合わせた「満足層」は70.8%と7割を超え、過去の調査結果から概ね横ばいとなっている。									
	満足層		不満足層			わからない	無回答	満足層	不満足層
	十分満足している	十分とはいえないが、一応満足している	まだまだ不満だ	きわめて不満だ	(%)				
令和5年度	14.1	56.7	19.4	6.5	2.0	1.3	70.8	25.9	
令和2年度	10.7	64.0	17.7	4.9	2.4	0.4	74.7	22.6	
平成29年度	11.6	62.1	17.9	6.0	2.2	0.3	73.7	23.9	
平成26年度	9.8	56.8	23.4	7.1	2.4	0.5	66.6	30.5	

[今後の暮らし向き]										
○ 「良くなっていく」が14.2%と、前回調査より2.5ポイント上昇した。新型コロナの影響が少なくなったことなどから、今後の暮らし向きに肯定的な思いが現れているものと推測される。										
	良くなっていく 計			悪くなっていく 計			わからない	無回答	良くなっていく 計	悪くなっていく 計
	非常に良くなっていくと思う	少しは良くなっていくと思う	変わらないと思う	少し悪くなっていくと思う	非常に悪くなっていくと思う	(%)				
令和5年度	3.2	11.0	35.1	33.6	10.7	6.3	14.2	44.3		
令和2年度	1.5	10.2	37.0	38.5	8.2	4.3	11.7	46.7		
平成29年度	1.5	11.9	35.2	34.5	11.0	5.8	13.4	45.5		
平成26年度	1.2	11.4	33.9	33.8	14.3	5.1	12.6	48.1		

1 暮らし全般について（～続き）

[デジタル技術で便利になった暮らしの場面]

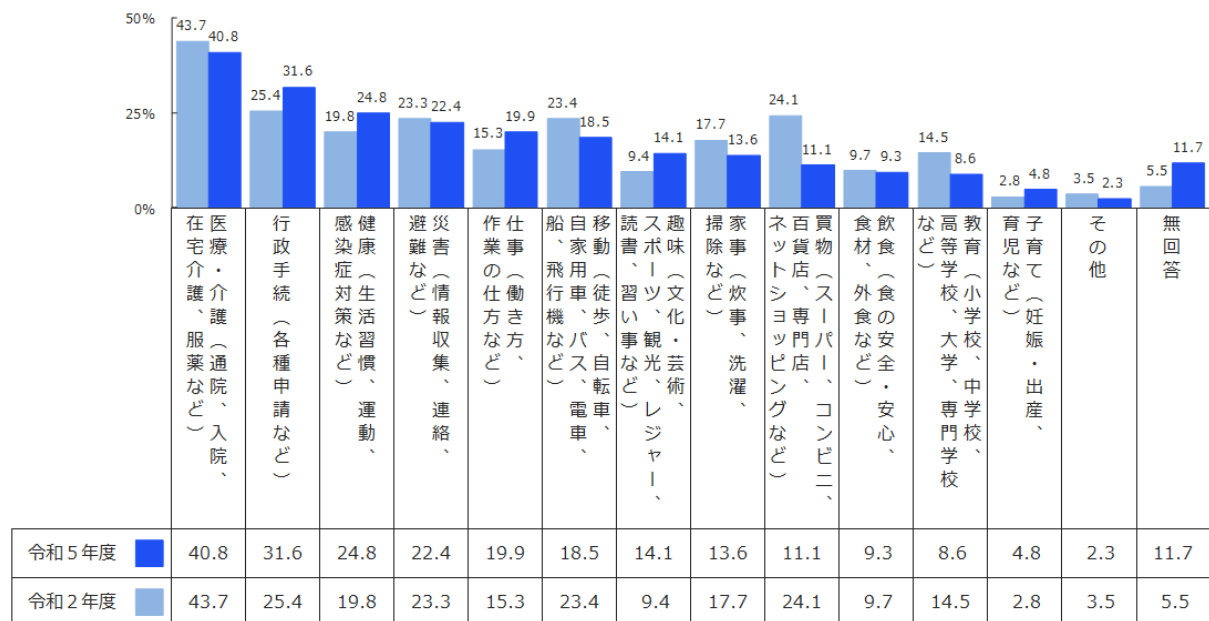
○ 今回新たに追加した項目である。最も便利になった場面は半数以上が「買物」と回答しており、新型コロナウイルスによりキャッシュレス化などが進み、便利になったと実感されたものと推測される。



※全体の値を基準に降順並び替え

[デジタル技術で便利にしたい暮らしの場面]

○ 「医療・介護」40.8%、「行政手続」31.6%、「健康」24.8%が上位となっている。
 ○ 「買物」は前回調査では3番目に高かったが、前問の「便利になった暮らしの場面」で最も高くなっており、この分野におけるデジタル技術の進展を裏付ける結果となった。

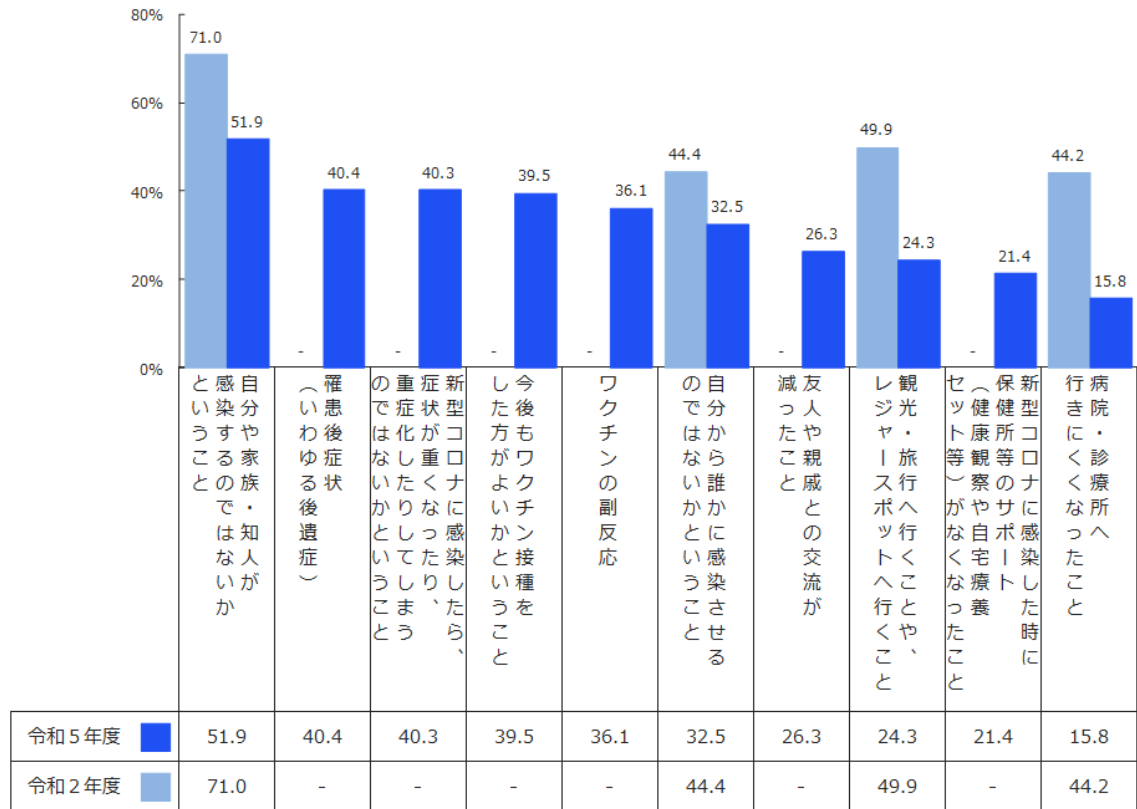


※全体の値を基準に降順並び替え

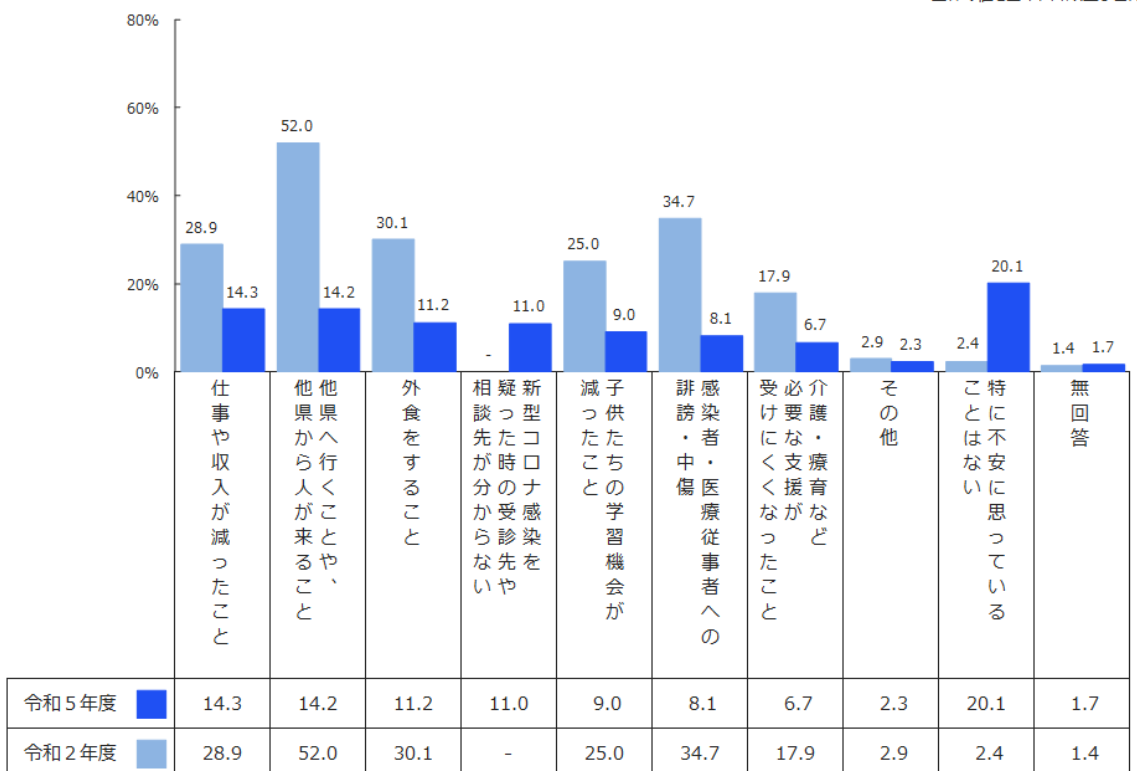
2 新型コロナウイルス感染症について

[新型コロナに対する不安]

- 自分や家族・知人が「感染する可能性」が 51.9%で、前回調査から 19.1 ポイント下がっているが、引き続き上位となっている。
- 次いで「後遺症」40.4%、「重症化」40.3%と、感染後の健康不安も高くなっている。



※全体の値を基準に降順並び替え

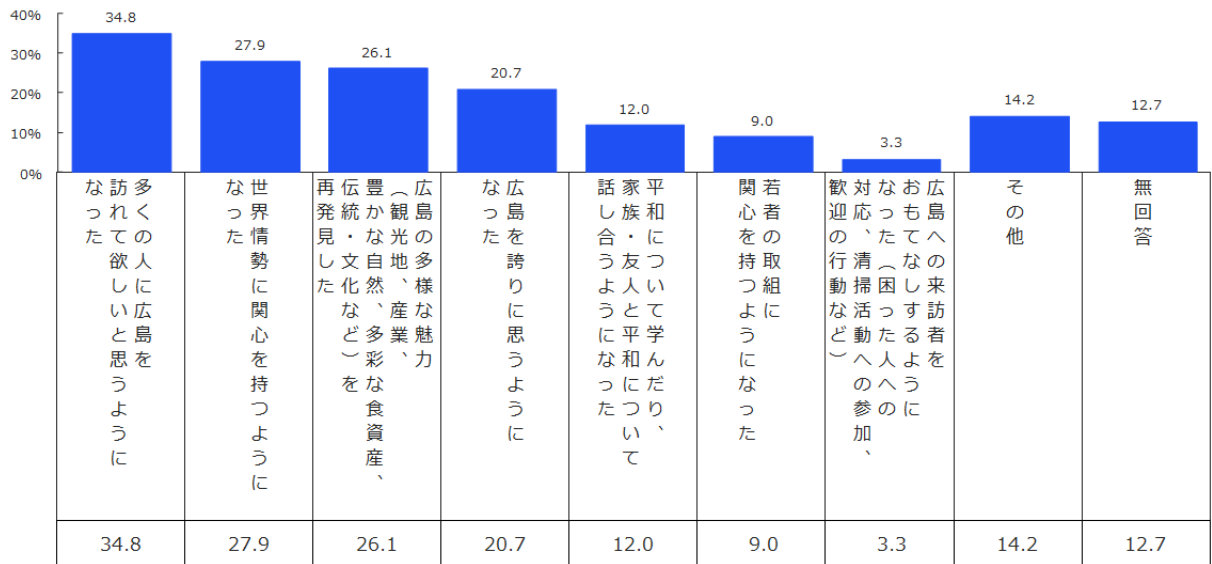


※全体の値を基準に降順並び替え

3 G7広島サミットについて

[行動・心境の変化]

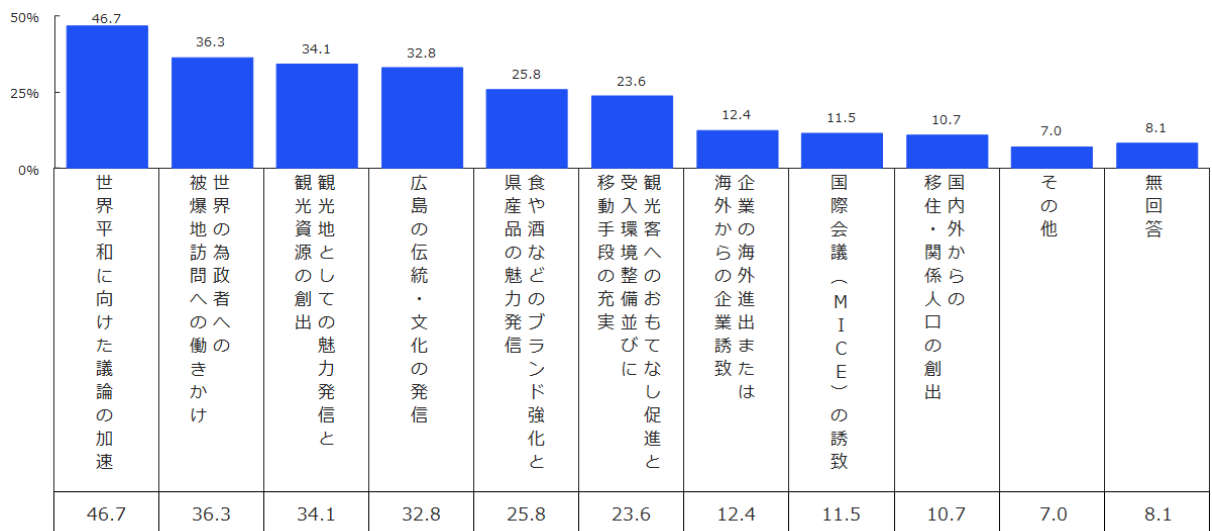
○ 「多くの人の来広を希望」、「広島の魅力の再発見」などが上位となっており、広島でのサミット開催を通じて改めて広島が持つ多彩な魅力について考えていただくきっかけになったものと推測される。



※全体の値を基準に降順並び替え

[サミットの機会を逃さず取り組むべきもの]

○ 「世界平和に向けた議論の加速」が46.7%、次いで「世界の為政者への被爆地訪問への働きかけ」が36.3%となるなど、平和に関連する内容が高い結果となっており、広島サミットにおいて力強いメッセージが発信されたことが寄与しているものと考えられる。

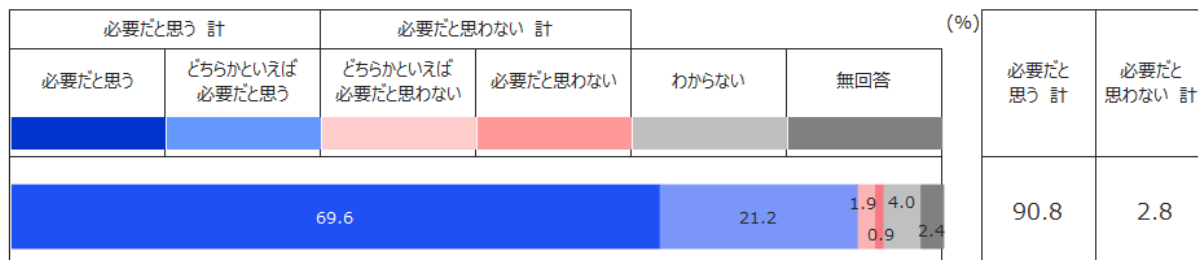


※全体の値を基準に降順並び替え

4 子供・子育てに関する施策

[社会全体で応援する意識]

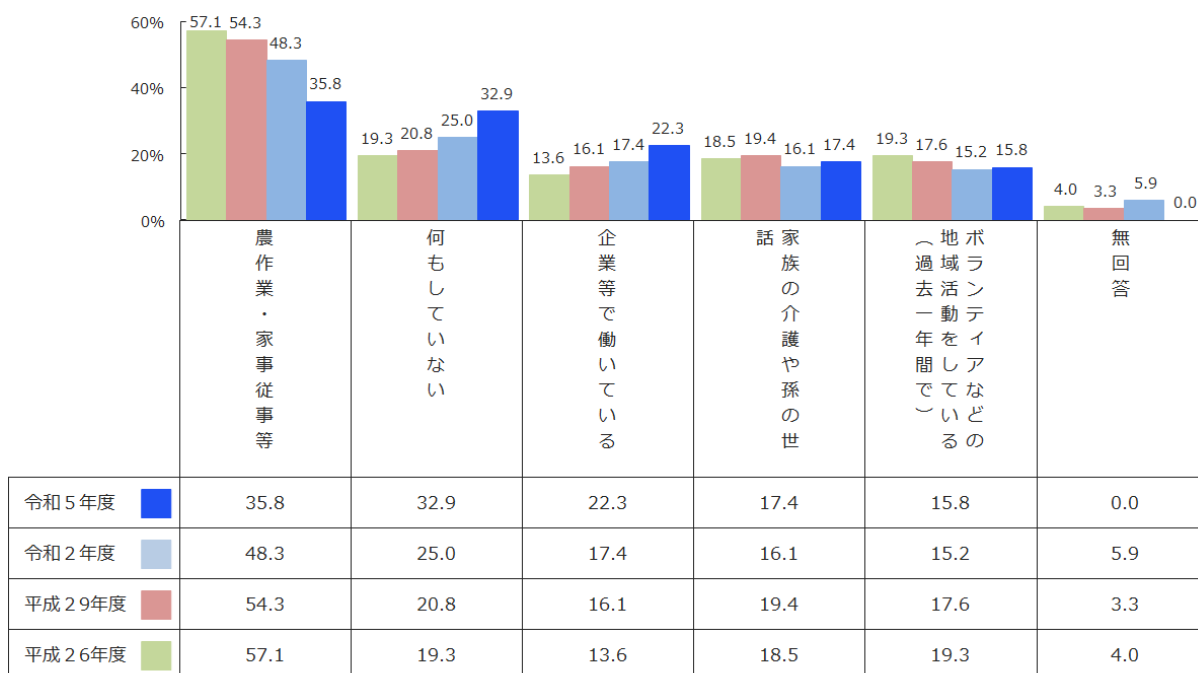
○ 「必要だと思う」が9割以上であり、妊産婦や子供、子育て中の人を応援しようとする県民意識が根付いていると考えられる。



5 健康に関する施策

[65歳以上の方の社会参画]

○ 前回調査に比べ、「企業等で働いている」が4.9ポイント上昇しており、定年延長等により、就労を通して社会とのつながりをもつ高齢者は増加している一方で、「何もしていない」と回答した方は7.9ポイント上昇しており、退職後に社会との接点が薄くなり、孤立しやすい環境にあると考えられる。

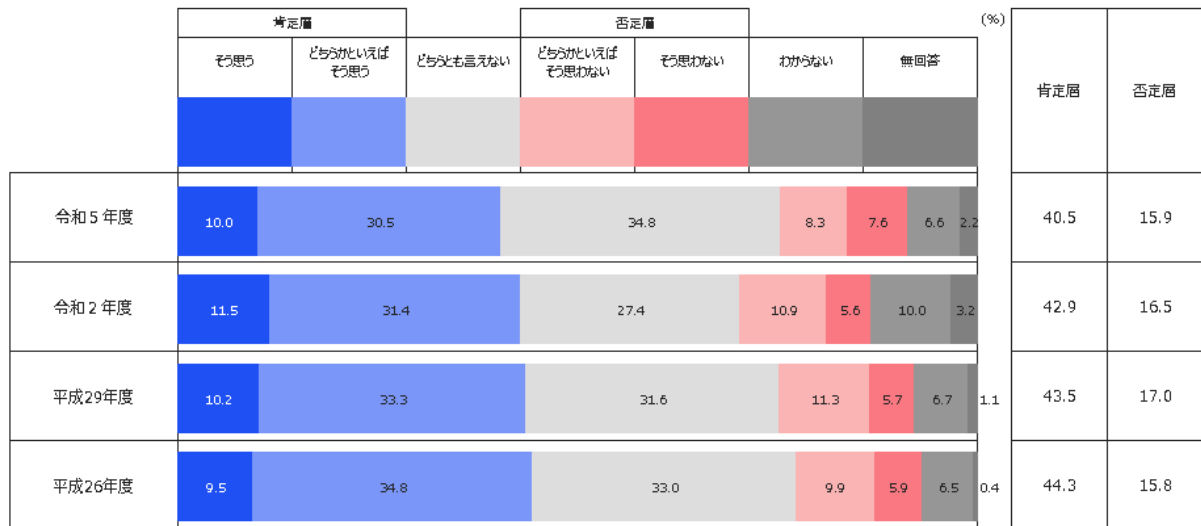


※全体の値を基準に降順並び替え

6 地域共生社会に関する施策

[人権に関する意識]

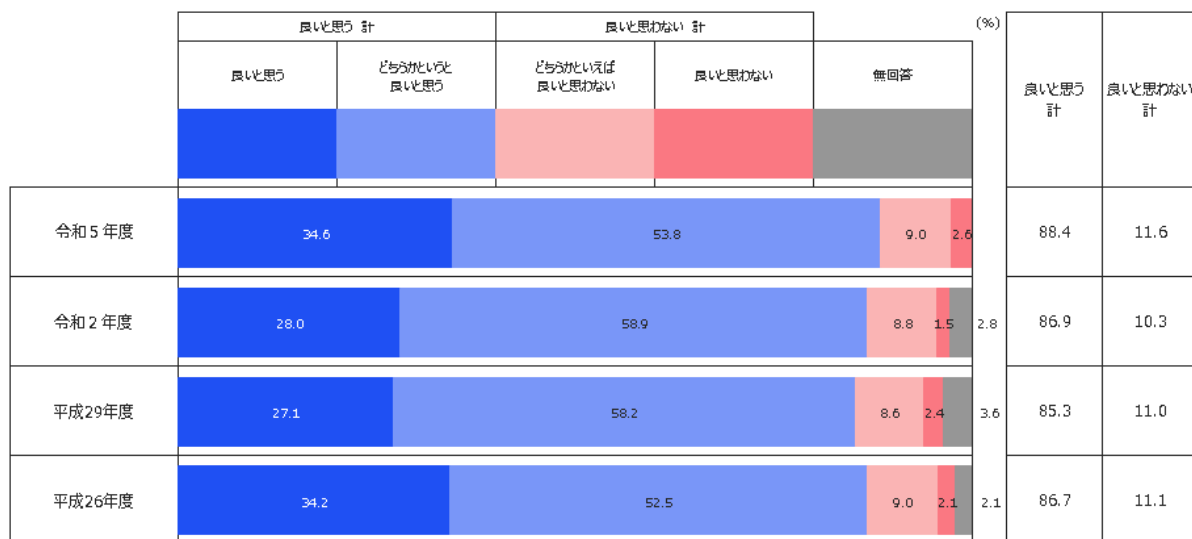
- 人権が尊重されていると感じるかの「肯定層」、「否定層」の割合は、ともに大きな変化は見られない。



7 治安・暮らしの安全に関する施策

[近年の治安状況]

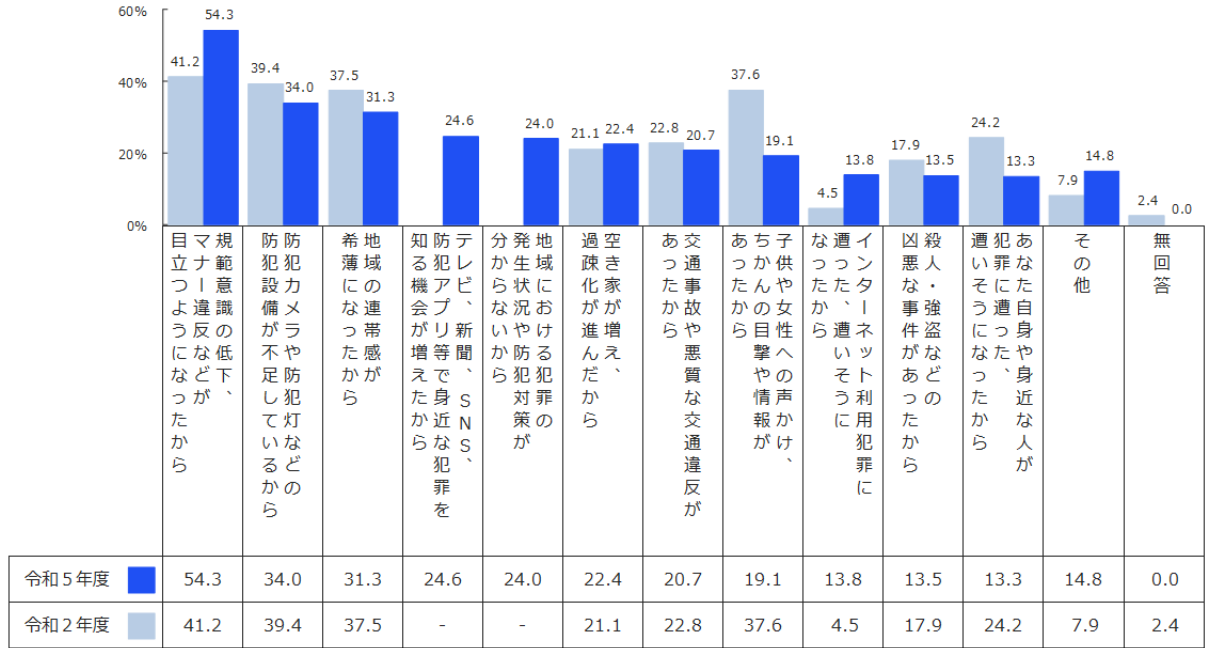
- 昨年、刑法犯認知件数が20年ぶりに増加に転じたにもかかわらず、居住地域の治安が「良いと思う」が88.4%と、前回調査から1.5ポイント上昇し、平成26年の調査開始以降最も高い数値となった。体感治安の向上には犯罪件数の減少以外に、これまで推進してきた県民総ぐるみ運動の各種取組の効果が現れつつあるものと推測される。



7 治安・暮らしの安全に関する施策（～続き）

[治安に対する不安理由]

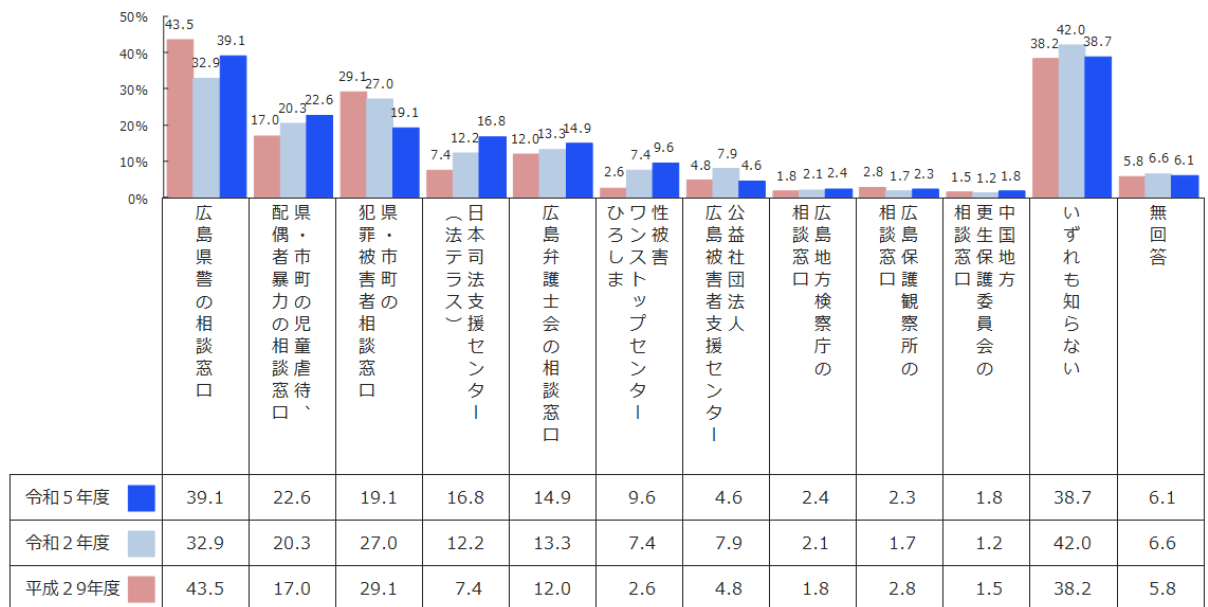
- 治安が「良いと思わない」理由として、「規範意識の低下」、「防犯設備が不足」が引き続き上位になっていることから、体感治安の向上のためには、犯罪抑止のほか、規範意識の向上などの意識づくりや防犯設備の普及などの環境づくりを推進する必要がある。



※全体の値を基準に降順並び替え

[相談窓口で知っているもの]

- ひろしまビジョンアクションプランの指標としている「性被害ワンストップセンターひろしま」の認知度については、前回調査から2.2ポイント上昇している。属性別に見ると、特に18～39歳の若年層の認知度が20%を超えている。



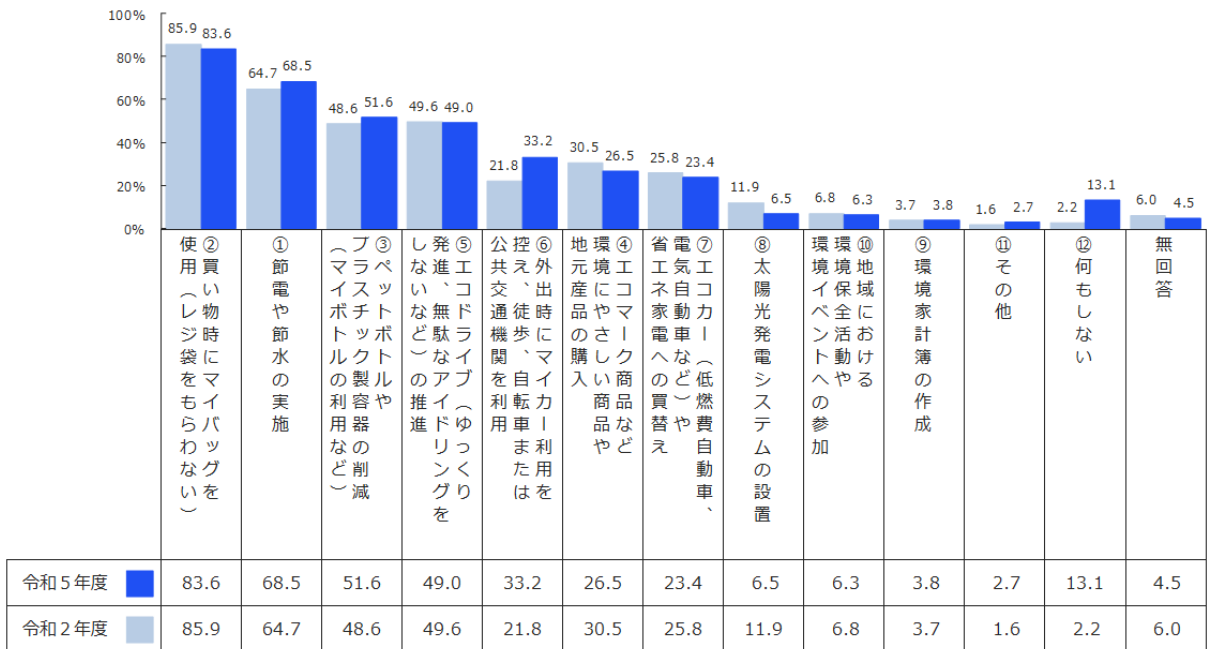
※全体の値を基準に降順並び替え

8 環境に関する施策

[環境保全活動への関心]

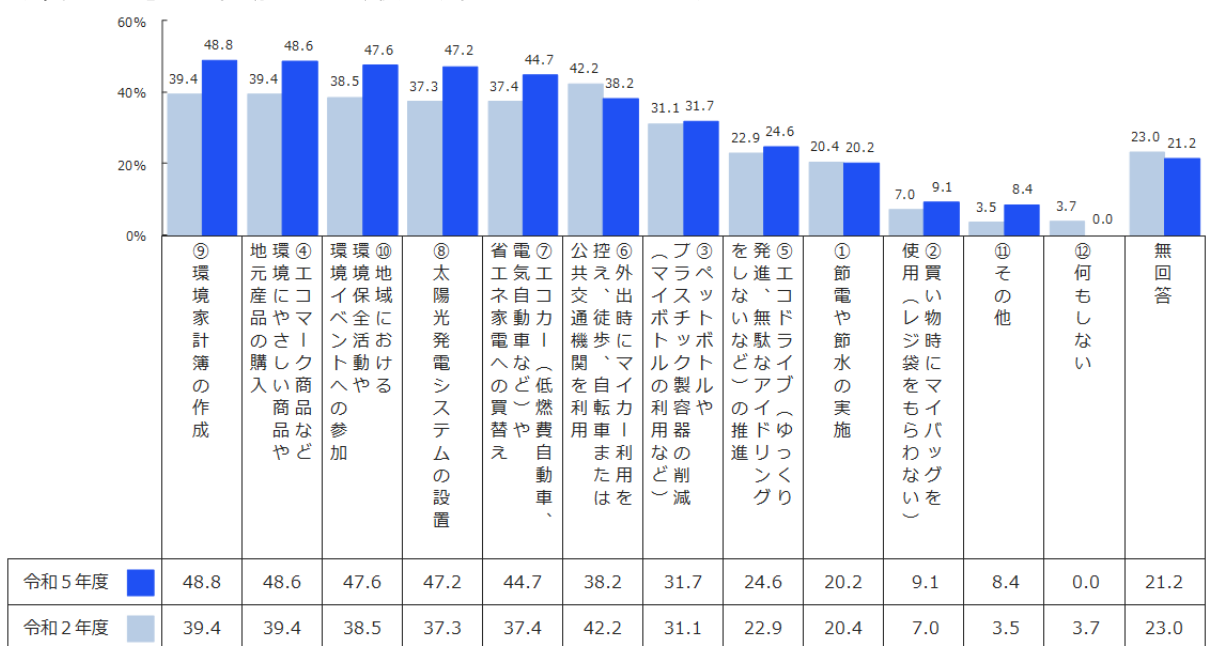
- 取り組んでいることとして、「買い物時のマイバック」、「節電や節水」は、前回調査と同様の水準である。一方、「プラスチック製容器の削減」、「マイカー利用の自粛」などの上昇が見られ、県民の意識変化が窺える。
- 今後取り組んでいきたいこととして、「環境家計簿の作成」、「環境にやさしい商品等の購入」、「地域イベントへの参加」などが上昇傾向にあり、県民の環境に対する意識醸成が進んでいると考えられる。

(環境に配慮した行動として取り組んでいること)



※全体の値を基準に降順並び替え

(環境に配慮した行動として今後取り組んでいきたいこと)

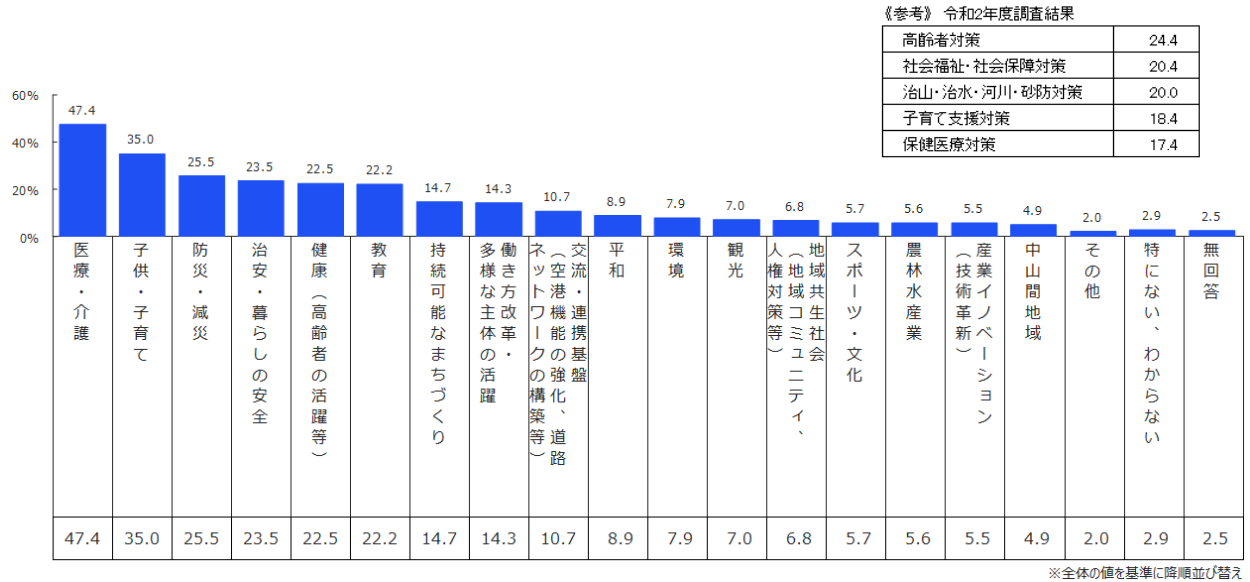


※全体の値を基準に降順並び替え

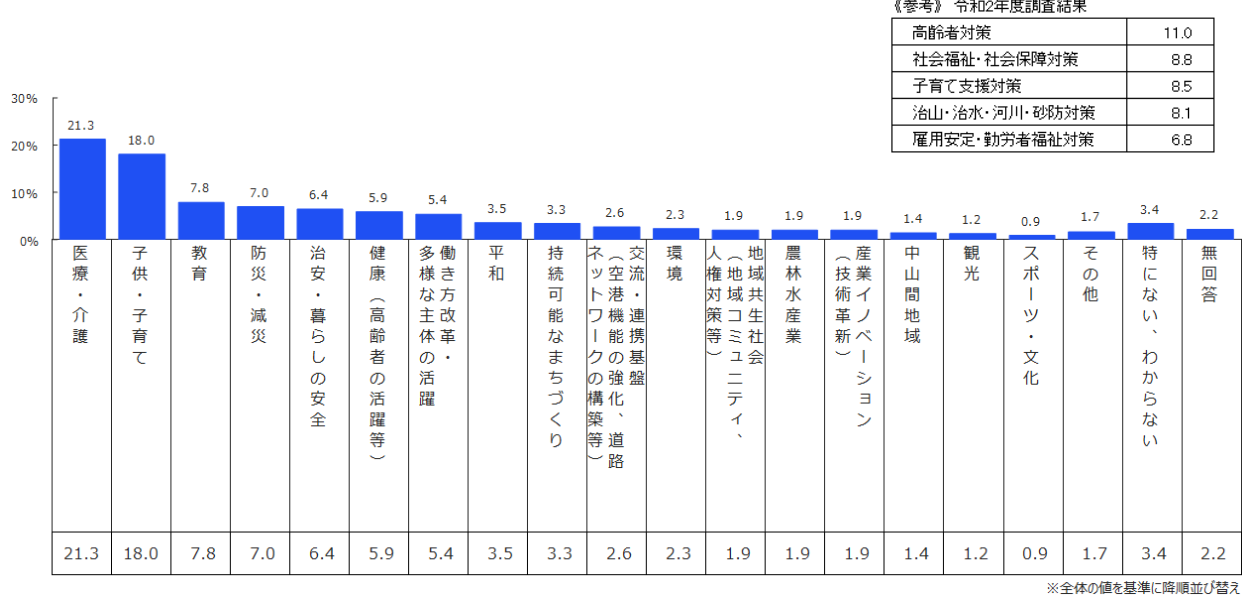
9 今後の重点施策の要望

- 「医療・介護」が47.4%、次いで「子供・子育て」35.0%、「防災・減災」25.5%となった。
- 最重要と考える施策としては「医療・介護」と「子供・子育て」で全体の約4割を占めている。

(今後特に力を入れてほしい施策) (3項目以内選択)



(最も重要だと思う施策) (1項目選択)



※ 詳細については、(別添)「広島県政世論調査結果まとめ」、「広島県政世論調査(報告書)」のとおり

※ 調査結果については、12月15日から県HPで公開

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/19/1177398971210.html>